

議員（松岡 忠）

6 番 松岡 忠、令和 2 年12月議会において一般質問を行います。

一般質問の前に今年を振り返ってみますと、今年は新型コロナウイルスに明け暮れた 1 年でした。多くの行事等予定が中止となり、町政にも多大な影響が出たと思います。今年できなかった行事等が、来年は新型コロナウイルスに終息してもらい、元の生活が送れることを望んでいます。

さて、一般質問に移ります。

最初に、来年度の予算編成方針についてであります。

来年度の予算については 3 月議会で正式に議論しますが、12 月に入り、各課の予算要求も出ていると思います。税収入が落ち込んでいると思われる中で、どうしても予算が必要な福祉予算等は別として、各課の重要な案件があると思いますが、政策観光課、高齢者保険課、健康福祉課、建設課、産業課、教育課の各課はどのような案件の予算を要求していますか、お伺いします。また、多度津町として来年度の重要施策をお伺いします。

町長（丸尾 幸雄）

松岡議員の来年度の予算編成方針についてのご質問に答弁をさせていただきます。

予算編成につきましては、各課からの予算要求に基づき、現在総務課において各課の予算査定を行っているところであります。各課の予算査定が終了した後、副町長、私による予算査定を行うなど様々な調整を経て、1 月下旬から 2 月上旬頃に予算案を取りまとめることとなります。現在、各課が予算要求している事業につきましては、予算規模をにらみ、収支の均衡を図る中でやむなく計上できないものが多数生じてきます。私の査定前の段階にありますので、各課からの個別の予算要求内容につきましては答弁を差し控えますが、令和 3 年度には新庁舎整備等に係る経費が予算計上される予定であるため、過去にない規模の当初予算となることが見込まれております。そのほか、各課からは経常的な経費に加え、子育て支援の充実や高齢者、障害者等の福祉に係る予算、教育環境の充実を図る予算、老朽化に伴う既存施設の修繕や改修に係る予算、道路等の基盤整備に係る予算、産業振興やまちづくりに係る予算等の予算要求が提出されております。議員のご質問にありますように、令和 3 年度予算において個人住民税や法人住民税をはじめとする町税は、新型コロナウイルス感染症の影響等により減収が見込まれます。さらに、新庁舎整備等に係る歳出が一時的に大幅な増加となるため、多額の財源不足が生じ、財政調整基金の取崩しにより補填せざるを得ない状況となることが見込まれております。このような財政状況にある中、できる限り財政調整基金からの繰入れを縮減しなければなりません。各課からの予算要求に対しましては、緊急性や安全性、事業の実施効果等を勘案する中で厳しい予算査定となることが予測されますが、十分な検討や協議を行い、予算を調整してまいります。

次に、令和 3 年度の本町の重要施策について答弁をさせていただきます。

まずは、新庁舎等の整備が最重要の施策となります。また、子育て支援の充実や防災を中心とした安全・安心なまちづくりは引き続き重要な位置づけになると考えております。そのほか、予算編成の過程で各課が実施する事業を有機的に結びつけ、重点とする施策を決定していくことになります。その内容につきましては今後調整を進め、施政方針として取りまとめてまいります。

以上、答弁とさせていただきます。

議員（松岡 忠）

有難うございました。

再質問をしようかなと思ったんですが、今の答弁の中に町長さんがちゃんと来年の予算査定の内容を詳しく言ってくれました。私が思うとったんは、今年第6次多度津町総合計画が改正されまして、また都市計画マスタープランも改正されました。その中の案件が各課の予算の要求、その中に少しは入っていったんかなという思いで今日の一般質問をさせていただきました。まだ正式な予算要求が決まってないと思います。もし、その中で、ああ、これひょっとしたら言われるんでないかなというような案件がございましたら、予算要求に入れとっていただきたいと思います。

さて、続きまして、幼稚園の統合計画についてであります。

多度津町の財政事情では新規事業は困難な時期だと思いますが、ここ数年来、将来にわたって多度津の子供たちがともに育つ教育環境を確保するために議論を重ねてきていると思います。教育委員会において、その中の一つである幼稚園の統合計画を検討していると思いますが、その進捗状況をお伺いします。また、その中でどのような意見が出ているのか併せてお伺いします。

教育課長（竹田 光芳）

松岡議員の幼稚園の統合計画の進捗状況についてのご質問に答弁をさせていただきます。

幼稚園の適正規模、適正配置の取組につきましては、現在毎月開催されている教育委員会において民有地を取得し整備、既存園を拡張し整備、町有地を活用し整備といった3つの整備方法から民有地を取得する候補地2案、多度津幼稚園、豊原幼稚園を拡張する案、町有地である梅割り石付近を活用する案、多度津中学校職員駐車場とその周辺民有地を取得する案の6候補が考えられ、敷地規模や立地の利便性などの教育環境、幹線道路からのアクセスや浸水想定地区などの地理的条件、事業費のほかの資料を基に比較検討を行っております。現在のところ、教育委員会における協議においては、本町の地理的中心に民有地を取得し整備する案と多度津幼稚園と多度津小学校用地を一部取り込み拡張し整備する案の2案を中心に検討を行っているところです。検討する過程においては、共通した意見としては園児数の確保のためにも預けたくなる魅力ある園を建設すべき、待機児童を出さないためにも認定こども園化を考慮すべき、スクールバスの運行について協議する必要がある、小学校の適正配置も併せて協

議する必要があるなど、意見が出されております。今後はこの2案について実質事業費の算出及び活用できる補助金等の調査、現状の体制で幼稚園運営を行った場合に係る経費と新設した場合の経費の比較ほか、詳細な検討をするための資料を作成し、議員の皆様のご意見も伺いながら、より実効性のある検討を進めてまいります。

以上、答弁とさせていただきます。

議員（松岡 忠）

私のこの幼稚園問題は、もう当初から私の中でよく考えている重要な懸案事項でございます。これが仮に決まっても2年や3年でできるものではありませんので、早急にある程度の答えを出して、前向きにやっていただきたいと思います。先ほどの来年度の予算要求も含めまして、多度津町が少しでもええようになるように、皆さんの協力で立派な多度津町をつくっていただきたいと思います、要望としておきます。

これで私の一般質問を終わります。